



WEEKLY REPORT

Rotary 東京立川ロータリークラブ 2019.9.13 第2854回 例会

2019～2020年度 RIテーマ



2019～2020年度
国際ロータリー会長
マーク・ダニエル・
マローニー

ロータリーは
世界をつなぐ

2019～2020年度 クラブテーマ

Restart!

創立60周年 第2ステージの始まり
2019-2020

東京立川ロータリークラブ
会長 長井 守

【会長挨拶】 長井 守 会長

9/8(日)未明に上陸した台風15号は関東を直撃した台風としては統計開始以来最強クラスで、停電や断水、交通網にも影響が出ました。また、8月末に日本列島を襲った大雨は特に九州北部で被害をもたらしました。中でも佐賀県、長崎県の近隣工場から流出した油による農作物等への被害は殊の外大きい様でした。現地2740地区ガバナーの悲痛な報告により、全国34地区を挙げてこの被災者への支援を行う事になりました。本会からも「北部九州豪雨被災者救援金」として、人道的支援積立金から121,000円を送金致しました。



長井 守 会長

さて、9/16(月)は敬老の日です。昭和22年に兵庫県のある村で提唱した「としよりの日」が始まりで、その後「としより」という表現は良くないということで、「老人の日」になり、翌年の昭和40年に「敬老の日」となり、国民の休日として現在に至っています。当クラブでは80歳以上の方を対象にお祝いをする長寿例会として本日開催致します。対象の方は11名です。「長寿の祝い」は「賀寿」「歳祝い」とも言い、更なる長寿を願って行うお祝いです。日本では奈良時代からの習慣として、中国の風習を取り入れ、当時は寿命も長くないため、40歳以降から10年おきに「四十の賀」「五十の賀」と祝っていました。江戸時代に入ると、一般的な風習として広まり、「家長は還暦を迎えると、隠居して家督を後継者に譲るものだと」という、長寿のお祝いというよりも「家系を絶えることなく、更なる繁栄を願う儀式」といった意味合いになり、現在の風習に変化していきました。その風習に当てはめると、市原さん安藤義治さんは81歳で盤寿と言ひ、お祝いの色は「黄」か「金茶」です。将棋盤のマス目が9×9=81になることから、将棋の世界で「盤寿」と呼ぶようになり、一般的に広まったそうです。石尾さんは90歳で「卒寿」と言ひ、お祝いの色は「紫」が一般的です。「卒寿」の「卒」の略字である「卒」が九十と読めることから、「卒寿」と呼ぶ様になったそうです。伊藤さんは、95歳で「珍寿」と言ひ、お祝いの色は特に決められていないそうです。「珍寿」の偏である「王」を「一」「十」「一」に分解し、右側の旁を「八三」とすると、「1+10+1+83=95」となることから、「珍寿」と呼ぶ様になったそうです。戦中戦後と激動の時代を乗り越え、高度成長期以降、急速に変化を遂げる日本において、当時働き盛りの先輩方の偉大な足跡は今日の日本の礎とも言えるでしょう。私は若い頃よく父から「長いものに巻かれろ」と言われることがありました。その真意は私が年を取るに従って感じるのですが、老輩者に対する敬意の念と同時に物事に対する自制心や忍耐を養う為の、まさに生意気盛りだった私への訓育の言葉だったのではないかと考えています。刻みの深い人生を送られた、先輩方の言葉の1つ1つは重く、私たちの指針となっています。

我々東京立川ロータリークラブは老壯青の相乗効果によって、円滑に機能しており、今後も互いにリスペクトしながら、活発な議論、活動を展開して参りたいと思います。毎週、先輩方のお元気なお姿を拝見できることは私達の励みであり、楽しみでもあります。いつまでもお身体には十分に自愛下さいまして、改めて本日11名の皆様には謹んでお祝い申し上げます。

【お客様の紹介】 長井 守 会長

安藤久枝 様(東京井の頭RC)

中野隆右 様(東京こぶしRC)



司会進行
金松誠司 副委員長



ニコニコの発表
堀越 豊 委員



出席率の発表
金原宏和 委員



【司会進行】

SAA委員会 金松誠司 副委員長

【開会点鐘】 長井 守 会長

【ロータリーソング斉唱】

『奉仕の理想』

【お客様の紹介】 長井 守 会長

【会長挨拶】 長井 守 会長

【幹事報告】 中山賢一 幹事

【ニコニコ発表】

親睦委員会 堀越 豊 委員

【出席率の発表】

出席委員会 金原宏和 委員

9月13日(金)	会 員 数	121名
	出席 義務 会員	113名
	出席 免除 会員	8名
	当 日 出 席 者	94名
	出席免除会員の当日出席者	3名
	出 席 率	81.74%
	8月30日の出席率	85.22% → 97.52%

【長寿例会】

司会 プログラム委員会

荒口 仁 副委員長

【閉会点鐘】 長井 守 会長

例会場: パレスホテル立川(立川市曙町2-40-15)

例会開催日: 毎週金曜日 開会点鐘 12:30

会報担当者: 杉山正樹

発行者: 長井 守

事務局: 立川市曙町2-34-6 小杉ビル8階

【TEL】 042-525-4046 【FAX】 042-529-2666

【HP】 <http://www.tachikawa-rc.org/>

【E-mail】 trrc8082@sepia.ocn.ne.jp



例会時には必ずバッジをつけましょう

【幹事報告】 中山賢一 幹事

●先週の例会で報告した「北部九州豪雨災害者救援金」のお願いについて9/6(金)理事会において本体会計人道支援積立金より会員数121名1人1,000円=121,000円、第2750地区を通じて災害者救援金として拠出致しました●9/11(水)東京府中ロータリークラブの例会に会長幹事で表敬訪問●9/12(木)パスト会長会がパレスホテル樺で開催●本日18時より創立60周年記念式典準備委員会の炉辺がパレスホテル樺で開催●9/17(火)クラブ会報委員会の炉辺が開催予定。同日、環境保全委員会の炉辺が開催予定●9/19(木)東京東村山ロータリークラブの例会に会長幹事で表敬訪問予定。お陰様で最後の表敬訪問となりました



長寿例会

司会 プログラム委員会
荒口 仁 副委員長



和やかな長寿会員のお食事の様子

【ニコニコ発表】 親睦委員会 堀越 豊 委員

- 安藤久枝 様よりお祝い
- 中野隆右 様よりお祝い
- 長井 守 会長 本日は、長寿例会ということで11名の対象者の皆様、おめでとうございます。また、昨日、パスト会長会を開催させて頂き、パスト会長の皆様方から、ご意見やアドバイスを頂き感謝申し上げます。
- 中山賢一 幹事 長寿会員の11名の皆様、本日は、おめでとうございます。今後共、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。妻の誕生日記念のお祝いありがとうございます。不覚にも先週のニコニコで書き忘れてしまいました。
- 辺見哲郎さん 妻の誕生日記念ありがとうございました。全く頭から抜けておりました、危なかったです。
- プログラム委員会一同 ご長寿の皆様、本日は誠にありがとうございます。これからも、ご健康に御留意頂き、いつまでも、現役でのご活躍をお祈り申し上げます。
- 藤森健至さん 9月に50才を迎え、人生100年時代の中間地点を皆様とともに、楽しく、オシャレに、振り返っていきたく思います。どうぞよろしく願いいたします。
- 大高 均さん 入会記念日のお祝いありがとうございます。ロータリーは定年退職後の生活に潤いを与えてもらってます。
- 浅見英明さん 入会記念のお祝いありがとうございます。
- 宮澤公栄さん 入会記念ありがとうございます。諸先輩方に引き続きご指導頂きますようお願い致します。
- 福本 修さん 皆様の長寿にお祝い申し上げます。
- 伊藤平八朗さん・石尾典久さん・馬場欽次さん・安藤義治さん・渋田幹雄さん・町田 弘さん・榎瀧晴夫さん・並木光治さん・市原聖功さん・中野均平さん 長寿の記念品、誠にありがとうございます。

長寿会員のご紹介

氏名	生年月日	年齢	干支
安藤義治さん	昭和12年12月29日 (入会年月日:1995.3.3)	81歳	丑
市原聖功さん	昭和12年11月22日 (入会年月日:2001.7.27)	81歳	丑
榎瀧晴夫さん	昭和12年4月13日 (入会年月日:1998.10.2)	82歳	丑
並木光治さん	昭和12年3月21日 (入会年月日:1973.12.7)	82歳	丑
星野良三さん	昭和12年3月18日 (入会年月日:1991.5.10)	82歳	丑
町田 弘さん	昭和12年3月1日 (入会年月日:2004.5.28)	82歳	丑
渋田幹雄さん	昭和11年7月22日 (入会年月日:2000.8.4)	83歳	子
中野均平さん	昭和11年2月14日 (入会年月日:1975.8.1)	83歳	子
馬場欽次さん	昭和9年4月1日 (入会年月日:1997.2.28)	85歳	戌
石尾典久さん	昭和3年11月7日 (入会年月日:1977.12.23)	90歳	辰
伊藤平八朗さん	大正13年7月8日 (入会年月日:1974.11.1)	95歳	子

〈長寿会員ご挨拶〉

安藤義治さん

安藤は当クラブで3名おり、81歳の安藤と言えばクラブの中では通用するかと思いますが、昨年80歳になり長寿の会の仲間に入れさせて頂いて、「長寿ジュニア」という若々しい呼ばれ方をしていきます。端から見ればいいジジイですが、自分自身は10歳位若いつもりで日常生活を送っております。最近ではゴルフをすると本当に飛ばなくなっているのを実感しますが、70歳代の人にはまだ勝っているのでは



本日合計 60,000円 本年度累計 902,000円



ないかと前向きに捉えるようにしております。しかし最近
は物忘れがだいぶ激しくなりました。昨日も八王子カントリー
クラブのゴルフで、ロッカーに帽子を忘れてしまいご連絡
を頂くという始末でありました。また外来診療をしていま
すが、患者様に薬を出すと言っておきながら忘れてしま
い職員に怒られる機会も増えてしまっています。歳は争え
ませんが、ここまで元気に生きてこれたのは、少なから
ず体を鍛えていたからだと思っています。運動をするとい
う事は勿論大変良い事です、自身が整形外科なので、人
の歩き方・姿勢を良く見ます。クラブの長寿の皆様の姿勢
は大変良いですが、背中が曲がって縮むという事は、足腰
が弱く痛くなって、強い腹筋側に倒れるように背中が曲が
って縮んでくるとい事ですから、伸ばす事も重要です、
背中が曲がってくると歩く頻度も乏しくなります。その様な
意味でもゴルフは有益であり、数を数える事もします。また
どこへ打つかという戦略も考えますので、ボケ防止にもな
ります。スウェーデンの調査で、ゴルフをやる人はやらない
人より5年長生きするそうです。今後も運動という意味で
はゴルフを続けていきたいと思っています。

そしてもう1つが「笑い」です。人間には笑いがないとい
けないと思います。心置きなく話せる人達との交流で、お
酒を飲みながら楽しい話をして笑う事は大切で、長寿会員
の中でも特に町田さんは、ご自身の周りには常に笑い
があり、人を笑わせる事にも長けております。リント会の中
でも中心的な存在でありますので、これからは更に活性化さ
れるだろうと思っています。

それから「お付き合い」という事もとても大切です。年を
取るとどうしても籠りがちになってしまいます。例え近く
でも外出する事が億劫になってしまうのですが、これが老化
の始まりなのです。ですから自分もなるべく多くの方との
交わりを大切にしていこうと考えるのです。学生時代の同
年代は少しずつ減ってしまい寂しくなりますが、ロータリー
の中で皆様と接していると、そういった減入る気持ちも飛
んでしまいます。これからもロータリーにはなるべく参加
をしていきたいと思っていますので、お付き合いの程お願
い致します。

市原聖功さん

本日は誠に有難うございます。長寿
会若手の市原ですが、今年で約18年
になります。昨年からは長寿になりました
が、当クラブには伊藤先輩と石尾先輩と
いう大先輩がおりますので、その姿を見
て、見習っていきたくと思っています。
また同12年生まれば安藤義治さん、榊
瀧さん、並木さん、星野さん、町田
さんの6名もいますので、数年前から同
じ丑年の会を開催しようとなりましたが、
日本語のままでは下品なのでどうし
ようかと考えていた所、安藤先生から
ドイツ語で牛の事を「リント」とい
う事を教えて頂き、「リント会」にし
ようとなり、時間の合う仲間と集い
飲んだり食べたりしています。この
様な楽しい会ですので、今後も参加
していきたいと思っています。本日は
誠に有難うございました。



伊藤平八朗さん

先日会長・幹事から、長寿例会にて一
言話して欲しいという依頼を受けたの
ですが、幾度となく話しているので、当
初はお断りしておりました。それでも
という事で依頼があったので周りのメン
バーに相談した所、「そこまで言われ
てるのですか…それなら伊藤さんがいつ
も言っている、イエスはあってノーは
無いんじゃないですか。」と言われ、
「あーそうですね…」という事でお引
受けしたので、色々考えました。



今まで毎年会長になられる方には、「その節は宜しくお
願い致します。」とお伝えしています。商売柄喜寿や米寿
は分かりますが、珍寿という字を存じていませんでした。
この字の表現で95歳という事になるのだそうです。私は
最高学府を出ておりません。良くそれは死語だと言われる
のですが、これは大学の事で、自分は旧制中学しか出てい
ませんので、最高学府というのは大変なものだと思っ
ていますが、坂村さんが調べてくれてご連絡を頂きました。
すると中国の学者孔子の言葉の中に珍寿という言葉が出て

きて、長寿長命という言葉だという事でしたので、坂村さんからはその言葉を念頭に60周年まで頑張ってお下さいという事でした。また立川病院のドクターはオリンピックまでは請け負うけど、その後はクエスチョンだと言われましたので、頂き物は有難く頂戴しておきます。

もう一点、ロータリーの問題について一言申し上げます。最近若い方が多く入会されました。親睦や出席についても重要ですが、つい先だってガバナー補佐が来訪された時に話をしていました所、幹事から「時間ですよ」と声を掛けられ頭にきてしまいました。時間については、幹事が指摘するのではなくSAA委員会が担当すべきで、スタートは決まっていますが後ろは延びても構わないと思っています。前年度は会員卓話が7名で外部講師が22名で

したが、外部講師の方の卓話の場合は、時間が延びてもSAAは動じる事なく行動しないと、みっともないと思います。ロータリーに長く在籍している中、色々な経験をしまして先輩からもお叱りを受けた事もあり、それから対処の仕方を理解しましたので、老犬虚に吠えずという言葉もありますので、是非上手く対処してください。

私は酒もタバコもせず、活力・気力・健康・苦勞・孝行を考えて、お蔭様で自分もなんとか95歳まで生かして頂きました。先程会長からもお褒めの言葉を頂きまして、また貴重なお時間に話をさせて頂く機会を頂き有難うございました。今後も一生懸命努力して参りますので、お手柔らかに宜しく願い申し上げます。

予告編

米山奨学金について

来月は「米山月間」です。10/18(金)の例会は、米山奨学委員会が担当させて頂き、米山奨学生をお招きしての卓話となります。といっても新人の方は何の事を言っているのか分からない方が殆どだと思います。メンバーの皆様のお多くはご理解されているとは思いますが、多くの新入会員の皆様をお迎えしている事もありますので、ここで今一度米山奨学金について、簡単に説明させて頂きます。冒頭に書いた「米山月間」ですが、ロータリークラブの「月間」とは、クラブだけでなくロータリアン一人ひとりが、ロータリーの活動に参加するよう強調するため、国際ロータリー(RI)理事会が指定した月間の事ですが、9月、10月は日本独自の月間テーマが設定されています。そしてこの10月は「米山月間」という訳です。では「米山奨学制度」とは何でしょうか？1952年に日本で最初のロータリークラブを創立した米山梅吉氏の功績を記念して、東京ロータリークラブが米山奨学制度を設立しました。



米山梅吉氏

その後1967年に文部省の許可を得て、財団法人ロータリー米山記念奨学会が設立されました。ロータリー米山記念奨学会は、勉学、研究を志して日本に在留している外国人留学生に対し、日本全国のロータリアンの寄付金を財源として、奨学金を支給し支援する民間の奨学団体で、その奨学金の事を「米山奨学金」と言います。将来母国と日本との懸け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することを目的としており、米山奨学生の採用数は、年間850人、事業費は約14億円。国際奨学団体としては、事業規模・採用数とも、日本国内では民間最大です。また特色として、奨学金による経済的な支援だけでなく、ロータリークラブ独自の世話クラブ(*1)とカウンセラー(*2)制度による心の通った支援があります。

続いて寄付金についてです。寄付金には普通寄付金と特別寄付金の2種類があります。まず普通寄付金ですが、日本の全ロータリークラブ会員からクラブを通じて定期的に支払う寄付です。各クラブで会員一人あたりの金額を決定し、半期に1度会員数分を送金します。クラブ事務局が申請すれば、税制上の優遇措置を受ける事も出来ます。次に特別寄付金ですが、個人、法人、またはクラブから、普通寄付金以外に任意で支払う寄付金です。ロータリー関係者以外の一般個人、法人、団体からも受付けています。金額に決まりはなく幾らからでも寄付する事が出来ます。今回は紙面の関係で、基礎的な情報のみですが、「幾らでも寄付できる！」という事はご理解頂けたかと思えます。特に新人の皆様、これは義務ではありませんが、善意の気持ちを持ってご寄付頂けたら幸いです。ご不明点等はお気軽に米山奨学委員会メンバーにお聞き下さい。

米山奨学委員会委員長 井上修一

*1 日本には約2,300のロータリークラブがあります。そのうち1つのクラブが、1人の奨学生の「世話クラブ」となります。米山奨学生は世話クラブの例会に月に一度出席し、ロータリー会員と積極的に交流して国際交流・相互理解を深めると共に、ロータリーの奉仕の心を学びます。

*2 奨学生1人に対し、世話クラブのロータリアンの中から1人がカウンセラーとなります。カウンセラーは、奨学生の個人的ケアにあたるアドバイザーです。